

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート (事後評価)

評価実施年月：平成27年3月

1. 対象事業	見附市公共下水道 見附処理区合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	見附市				
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度				
4. 対象事業の進捗状況	平成16年度策定の計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減 ・雨水滞水池 (1箇所 1,100 m ³ (実績) /1箇所 1,100 m ³ (計画)) ②公衆衛生上の安全確保 ・雨水貯留管 (1箇所 3,600 m ³ (実績) /1箇所 3,820 m ³ (計画)) ※事業計画期間中に合流区域の流入水量が減少し、計画貯留量未満の容量で合流改善目標値を達成できる見込みとなり、実績容量は計画容量を下回っている。 ・越流堰の嵩上げ (雨水吐室 1箇所 EL=16.530m→16.601m) ③きょう雑物の削減 ・既存施設のスクリーンで、既に夾雑物の除去を行っている。				
5. 目標達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ①汚濁負荷量の削減 (分流式下水道並みの汚濁負荷) 分流式下水道並みの汚濁負荷：BOD 放流負荷 39.5t/年 ②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数の半減) ② - 1 未処理放流回数：60回/年 ② - 2 雨水吐き堰高の変更：堰上げ約7cm ③きょう雑物の削減 (きょう雑物の流出防止) →既存施設のスクリーンで、既に夾雑物の除去を行っている。				
	【目標に対する達成状況】				
	改善項目	評価指標	対策前	事後評価 (平成26年度)	改善目標
	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
	①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	53.7t/年	33.2t/年	39.5t/年
	②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	121回/年	46回/年	60回/年
	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	2箇所	既存施設利用	既存施設利用
	【改善期限までの目標達成の見通し】 当面の目標 (汚濁負荷の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減) に関する施設については完了している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況	下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果 BOD：15.8mg/L (平成26年度シミュレーションより)				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	流入水量減少に伴う事業計画の見直しにより、葛巻下水処理場の水処理施設 (最終沈殿池) の1系統が遊休施設となっていたものを雨水滞水池として再利用し、コスト縮減に努めた。それにより降雨初期の高濃度汚水を一時貯留し、降雨後通常処理を行う事で水質改善を達成した。				
8. 今後の方針	見附市公共下水道では、合流式下水道緊急改善計画で位置付けた改善対策の整備が概ね概成したことから、当面の目標は達成された状況にある。施設の適正な維持管理や汚濁負荷量等の推移や新技術の動向などに注視し、必要に応じて、更なる改善に努める予定である。				